

インクルーシブ教育に対応した教育環境と 学校施設の長寿命化について

「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」の一部改正（平成14年7月公布、平成15年4月施行）において、学校施設が新たにバリアフリー化の努力義務の対象として位置付けられました。

一方、「障害者基本計画」（平成14年12月閣議決定）において、学校施設のバリアフリー化が求められるとともに、ユニバーサルデザインの観点から、すべての人にとって生活しやすいまちづくり、ものづくりを推進することが求められています。

このことから、文部科学省では「学校施設のバリアフリー化等に関する調査研究協力者会議」を平成15年8月に設置し、小学校、中学校を中心に学校施設のバリアフリー化等を推進するための基本的な考え方や計画・設計上の留意点等について検討を進め、平成16年3月に同協力者会議が報告書「学校施設のバリアフリー化等の推進について」（学校施設バリアフリー化推進指針）を取りまとめました。

この学校施設バリアフリー化推進指針の第1章第1項には、

学校施設は、多くの児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場である。したがって、児童生徒等の健康と安全を十分に確保することはもちろん、快適で豊かな空間として整備することが必要である。また、学校施設は、地域住民にとって最も身近な公共施設として、まちづくりの核、生涯学習の場としての活用を一層積極的に推進するとともに、地域の防災拠点としての役割を果たすことが求められている。

したがって、新たに学校施設を整備する際には、児童生徒、教職員、保護者、地域住民等の多様な人々が利用しやすいように、ユニバーサルデザインの観点から計画・設計するよう努めることが重要である。一方、既存施設においては、ユニバーサルデザインの考え方を念頭に、児童生徒等が安全かつ円滑に施設を利用する上で障壁となるものを取り除くための方策等について十分に検討し、必要に応じて段階的な整備を行うなど、計画的にバリアフリー化を推進することが重要である。

と記載されています。

本市の小中学校の状況は下記のとおりです。

学校施設一覧

	名称	住所	建設年度	ユニバーサル 化対応	エレベーター 設置
小学校	八幡小学校	本町 5 丁目 5	1990 (H2)		
	島小学校	島町 1603	2013 (H25)	済	2 基
	沖島小学校	沖島町 360	1994 (H6)		
	岡山小学校	加茂町 3818	2018 (H30)	済	2 基
	金田小学校	金剛寺町 276	2010 (H22)	済	2 基
	桐原小学校	森尻町 414-1	2015 (H27)	済	2 基
	桐原東小学校	土田町 175	1984 (S59)		
	馬淵小学校	馬淵町 1533	1993 (H5)		
	北里小学校	江頭町 1014	1984 (S59)		
	武佐小学校	武佐町 118	1986 (S61)		
	安土小学校	安土町常楽寺 456	1969 (S44)		1 基
	老蘇小学校	安土町東老蘇 1300	1971 (S46)		1 基
中学校	八幡中学校	市井町 36	1988 (S63)		1 基
	八幡東中学校	上田町 1751	1982 (S57)		
	八幡西中学校	古川町 50	1982 (S57)		
	安土中学校	安土町上豊浦 862	1984 (S59)		1 基

※建築年度は、教室棟・特別教室棟で最も古い建物を記載

近江八幡市 学校施設の長寿命化計画（平成 31 年 3 月策定）

学校別整備予定年度

学校名	棟の種類	整備予定年度			
		2019 (H31) ~ 2023 (R5)	2024 (R6) ~ 2028 (R10)	2029 (R11) ~ 2033 (R15)	2034 (R16) ~ 2038 (R20)
八幡小学校	校舎	—	—	長寿命化	
島小学校	校舎	—	—	—	予防保全
沖島小学校	校舎	—	—	—	長寿命化
金田小学校	校舎	—	—	予防保全	—
岡山小学校	校舎	—	—	—	—
桐原小学校	校舎	—	—	—	予防保全
桐原東小学校	校舎	—	長寿命化		
馬淵小学校	校舎	—	—	長寿命化	
北里小学校	校舎	—	長寿命化		
武佐小学校	校舎	—	長寿命化		
安土小学校	校舎	整備方法検討			
老蘇小学校	校舎	整備方法検討			
八幡中学校	校舎			長寿命化	
八幡東中学校	校舎	長寿命化			
八幡西中学校	校舎	長寿命化			
安土中学校	校舎		長寿命化		

※各学校の校舎のみを抜粋

※各学校の整備予定年度は事業の進捗状況・財政状況、社会経済情勢等により変更になることがあります。